

重量物用拡張アンカー CE7

- ひび割れのないコンクリート用 CE オプション 7
- 電気亜鉛メッキ炭素鋼
- ナットとワッシャー付属
- ロングスレッド
- エキストラロング マルチウェイ 拡張クランプ
- 高密度材質に適しています
- 貫通締結
- トルク制御された拡張

AB7
規格AB7
エクストラロング

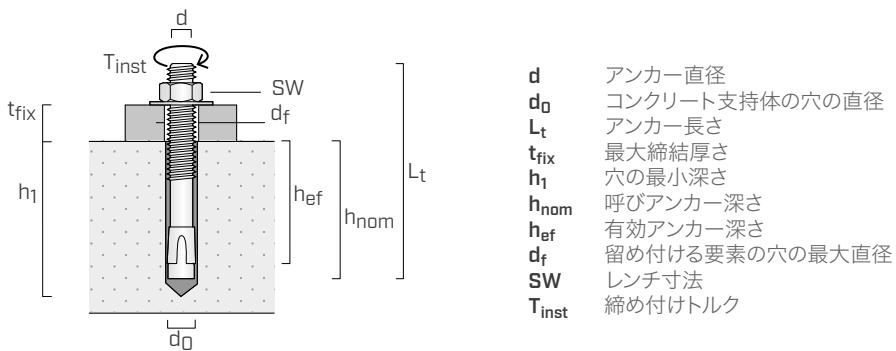
コードと寸法

AB7 標準ワッシャー ISO 7089

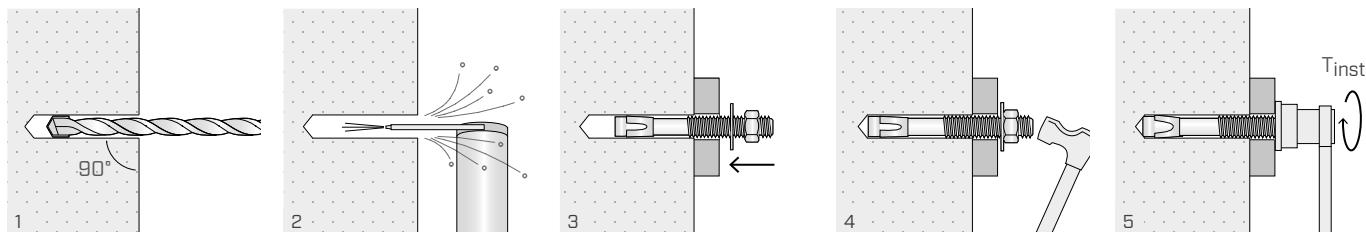
コード	$d = d_0$ [mm]	L_t [mm]	t_{fix} [mm]	$h_{1,min}$ [mm]	h_{nom} [mm]	h_{ef} [mm]	d_f [mm]	SW [mm]	T_{inst} [Nm]	pcs
AB71075	10	75	10	65	55	50	12	17	35	50
AB712100	12	100	18	80	70	60	14	19	55	50
AB712120		120	38	80	70	60	14	19	55	20
AB716145	16	145	30	110	100	85	18	24	100	15
AB716220		220	105	110	100	85	18	24	100	10
AB720170	20	170	35	125	115	100	22	30	150	5

AB7 EXTRALONG 大型サイズのワッシャー ISO 7093

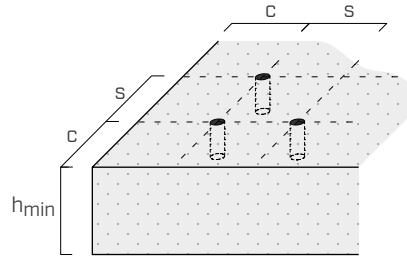
コード	$d = d_0$ [mm]	L_t [mm]	t_{fix} [mm]	$h_{1,min}$ [mm]	h_{nom} [mm]	h_{ef} [mm]	d_f [mm]	SW [mm]	T_{inst} [Nm]	pcs
AB716300	16	300	185	110	100	85	18	24	100	5
AB716400		400	245	110	100	85	18	24	100	5



組立



施工



		AB7			
間隔と最小距離		M10	M12	M16	M20
最小間隔	s_{min} [mm]	68	81	115	135
最小エッジ距離	c_{min} [mm]	68	81	115	135
コンクリート支持体の最小厚さ	h_{min} [mm]	100	120	170	200
間隔と臨界距離		M10	M12	M16	M20
臨界間隔	$s_{cr,N}^{(1)}$ [mm]	150	180	255	300
	$s_{cr,sp}^{(2)}$ [mm]	250	300	425	500
臨界エッジ距離	$c_{cr,N}^{(1)}$ [mm]	75	90	128	150
	$c_{cr,sp}^{(2)}$ [mm]	125	150	213	250

間隔と距離が臨界より小さい場合、施工パラメータに応じて強度値を減少させる必要があります。

耐力表

間隔とエッジ距離がパラメータを制限しない場合に、薄い補強層を備えた肉厚の C20/25 グレードのコンクリートへの單一アンカーに有効です。

特性値

ロッド	ひび割れのない コンクリート			
	張力 ⁽³⁾ $N_{Rk,p}$ [kN]	γ_{Mp}	せん断 ⁽⁴⁾ $V_{Rk,s}$ [kN]	γ_{Ms}
M10	12,0	1,8	14,5	1,25
M12	16,0	1,8	21,1	1,25
M16	16,0	1,8	39,3	1,25
M20	30,0	1,5	58,8	1,25

増分係数 $N_{Rk,p}^{(5)}$		
Ψ_c	C30/37	1,22
	C40/50	1,41
	C50/60	1,55

注記:

(1) 引張荷重に対するコンクリートコーン形成のための破損特性。

(2) 引張荷重に対する分離破損モード。

(3) プルアウト破損モード。

(4) スチール破損モード。

(5) 引張強度増分係数 (スチール破損を除く)。

一般原則:

- ETA-17/0237 に準拠した特性値。
- 設計値は、以下のように特性値から得られます: $R_d = R_k / \gamma_{M0}$ 。
係数 γ_M は、破損特性と製品認証に準拠した表に記載されています。
- 間隔の狭い、またはエッジに近過ぎるアンカーの計算については、ETA を参照してください。同様に、より高いグレードで、厚さが制限されているか、補強層が厚いコンクリート支持体への締結の場合は、ETA を参照してください。